

# 「JSJ の素晴らしさ」

JSJ 元保護者 鳥居史寛

娘(6年)と息子(4年)が通わせてもらった JSJ について、その素晴らしさをお話をしたいと思います。南アに新しく来られ、お子様の就学先を検討しておられる方や、南ア現地校から JSJ への編入について考えておられる方が、少しでもご参考いただければと思います。

当時通学していた現地校の休暇期間を利用し、JSJ 主催の体験入学会(三日間)に子供たちを参加させたのは、南アに来てから 2 年ほど経った頃でした。娘は以前から JSJ にある程度関心は持っていましたが、息子は全く関心なく、その日も「絶対に日本人学校には転入しないからね」と言い残して家を後にしました。実際この時点では JSJ に編入する考えは親子共にありませんでした。その当時はブリティッシュインターで、子供二人ともそこを十分気に入り何の問題もなく通っていたからです。

ところが家に帰ってくるなり「ワタクシはこの度、日本人学校に転入する事とになりましたので！」と敬礼する息子。一発で気に入ってしまい、朝と真逆の反応になっていました。

JSJ での日々の出来事を、毎晩食卓で子供達が代わる代わる話してくれるのが本当に楽しく、先生と子供達との触れ合いや、のびのびと過ごしている子供たちの姿が目には浮かび、難しい南アの環境を忘れさせてくれました。ブリティッシュはブリティッシュでよかったです。JSJ とはあらゆる面で比にならなかったようです。

夏休みや冬休みが終了し明日から学校、という日でも、「早く明日にならないかな」といつも真顔で言っていました。まるで毎日遠足でも行くかのように、それはそれは楽しみにウキウキしてバスにの乗り込んでいました。

私の仕事の関係で帰任となり、子供達が最後に皆さんに送られ学校を後にした時、気丈に振る舞っていた子らが帰りの車ではグシャグシャになる程泣き続けました。子供らに申し訳ないと心から思いました。

私たちは娘が 1 歳の頃から 11 年海外におりまして、現地の幼稚園、インターナショナルスクールを転々としてきました。また長期休暇期間を利用して、日本の地元の小学校にも短期間通わすこともありましたので、子供たちは、日本の学校がどんなものかはよく認識していました。

そのように様々な学校を経験した二人は声を揃えて、「JSJ が一番良かった」とはっきり言います。「何が？」ときくと「先生とお友達」と言います。

親からの目線も含め、良かったことを列記するとこのような感じかと思います。

- ・まず子供達が本当に楽しくイキイキと通う学校であること。
- ・子供ら自身が他の学校と比較して一番良いということ。
- ・少数体制により先生が目が行き届き、教科学習だけではなく、生活習慣、しつけ、考え方の点においてもすばらしい教育が施されること。
- ・インターで身についた英語力が落ちなかったこと(寧ろ部分的には伸びたほど)。
- ・学校運営は子供ファーストの絶対方針で、教員と保護者の両者の意見・考えが十分に反映されていること。
- ・リスク管理体制\*がしっかりしており、安心して子供を預けられること。
  - \* 警備、バス通学、コロナ予防体制、非常事態時の対応と運営、その他安全管理面
- ・日本人らしさ(良いところ)を植え付け育んでもらえること。
- ・教員の方々のレベル(教え方、人間性)が非常に高いこと。
- ・子供たちは基本的に家庭環境に恵まれ、学力高く個性的でいい子ばかり。

学校の廊下や教室には日本の小学校でよく見る「挨拶、返事のできる子」、「思いやり」、「みんなで力を合わせて」、などが至るところに掲げてあり、日本の学校に通った私たちにはお馴染みの風景ですが、生まれてからずっと海外に暮らしてきた子供たちにとっては新鮮なものである一方、それは家での教えと同じものでもあり、他に通ってきた学校にはなく、自然と教えを受け入れられる居心地のいい空間であったと思います。

教育は先生と親が行なっていく事、机を並べて一緒に勉強する友達と切磋琢磨し、お互いを認め合い高め合い、共に学力、体力、心がすくすくと成長すること、師との心の通った対話により、教えられる事や目上の人を敬愛することに喜びを覚える事、ハードシッフの高い環境でも健康・安全面から安心して子供を預けることができ、子供にとっても第二の家となる事、それら全てが JSJ には揃っていると思います。

子供達が口を揃えていったように、親としても夫婦口を揃えてはっきりと言えます。

JSJ が最高であると。